

地域クラブ活動の5つの安全管理



地域クラブ活動では生徒が安全に参加できるよう、以下の5つの安全管理を実施しています。

- 01 熱中症対策 02 指導者向け事前研修 03 AEDの確保
 04 指導者向け救命講習会開催 05 TEPRO職員 救命講習受講

01 熱中症対策 ～前日判断と当日現地判断の2ステップによる判断～

①前日判断

活動予定日の気候は、環境省「熱中症予防情報サイト」の**前日17時における当日のWBGT（暑さ指数）の予測値情報**をもとに判断しています。

熱中症特別警戒アラート発令時

⇒翌日向けに熱中症特別警戒アラートが発令されている場合、**屋内外問わず**、地域クラブ活動は**一律中止**としています。

熱中症警戒アラート発令時

⇒**屋外**で行う地域クラブ活動は**原則一律中止**としています。

ただし、事前に屋内や日陰での代替練習場所を確保できている場合は、中止にせず活動場所を変更して実施する方針としています。



←事務局を中心に、コーディネーター
指導者と連携して判断を行っています



「熱中症予防情報サイト」の画面
<https://www.wbgt.env.go.jp>

WBGT（暑さ指数） と熱中症警戒アラート とは？

～WBGT～

気温・湿度・輻射熱（ふくしゃねつ）を用いた温度の指標の1つです。運動に関する指針では、

○WBGTが**28以上31未満**
⇒**嚴重警戒**
（激しい運動は中止）

○WBGTが**31以上**
⇒**運動は原則禁止**

となっています。

～熱中症警戒アラート～

熱中症の危険性が**極めて高い暑熱環境が予測される**際に、環境省より前日の17時頃及び当日の5時頃にWBGTの予測をもとに発表されるものです。

警戒アラートが発令された場合は、左記の基準に基づき、活動について判断しています。



②当日現地判断

当日現地判断はWBGT**31**以上が基準



⇒当日活動場所で、コーディネーターがWBGTを確認し、**WBGT31以上**が継続するようであれば、地域クラブ活動は**中止**します。

屋内や日陰での代替練習場所を確保できている場合は、活動場所を変更して実施しています。

⇒活動場所で**WBGT28以上**が継続するようであれば、こまめに休憩及び水分補給をはさみながら活動を行っています。



地域クラブ活動とは.....学校と地域との連携・協働により、生徒のスポーツ・文化芸術活動の場を提供する学校外の取組です。生徒が、生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保できるようにすることが目的です。指導者については学校外の質の高い指導者を確保しています。また、希望する教員も専門の種目や分野の指導に参加している場合もあります。

02 指導者向け事前研修

指導者には、実際の指導に入っていただく前にTEPRO独自の研修を必ず受講していただいています。

研修では、主に以下の内容を共有し、徹底をお願いしています。

- 指導を行う上での心構え
- 倫理規範を念頭に置いた活動
- 事故発生時の対応 など



指導者向け事前研修のスライドの一部

03 AEDの確保

万が一のことですが、活動中の事故にも備える必要があります。

例えば、**AED**は通常校内に設置されているのですが、地域クラブ活動は校外の活動もありますので、学校備え付けのものとは別に十分な数の**AED**を用意しています。



04 指導者向け救命講習会開催

生徒の安全確保のために、指導者には**救命講習の受講を推奨**しています。その一環として、中野消防署に御協力いただきTEPRO主催の指導者向け救命講習会を実施し、指導者からも「とても有意義だった」との感想をいただいています。



05 TEPRO職員救命講習受講

例えば、子供同士がぶつかり両者ともけがをし、その場の指導者だけでは、対応が難しい場合も想定されます。

そのような時に我々TEPRO職員も、指導者と共に応急手当を行えるよう、指導者とは別に救命講習を受講し、応急手当の方法を学んでいます。



心肺蘇生法を中心に様々な「応急手当・処置」の方法を学ぶ様子

編集後記

熱中症対策はTEPROでも重要な取組事項と考えています。前日判断と当日の現地判断を徹底し、熱中症による事故が起こらないよう指導者とも話合いや情報共有を重ねています。地域クラブ活動を行う上で、お預かりする生徒の安全・安心を確保することが最優先事項です。今後も安全・安心な地域クラブ活動を運営できるよう努力してまいりますので、引き続き御理解御協力をお願いいたします。